



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済：来年度予算関連（2月16日～26日）

1. 国会議長の発言（17日付ハムシャフリー紙）

ラーリージャーニー国会議長は、来年〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕の暫定予算案の提出および補助金合理化第二弾の実行を、来年度予算案提出以降にするよう政府に依頼した。「政府による来年度予算案の提出遅延は大きな問題となっており、国内に悪影響を及ぼす」と述べている。

2. ノウルーズの国民向け現金給付（18日付ハムシャフリー紙）

ノウルーズ〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）正月〕時の国民向け現金給付に関し、NDF（国家開発基金）のホセイニ次長は、政府はNDFからの25億米ドルの借入を3年で返済しなければならないとした上で、「この資金は為替センターでリヤールに転換されるため、インフレへの影響はないと考えられる」と述べた。

3. 自動車価格に関する鉱工業・商業大臣の発言（20日付ハムシャフリー紙）

イラン・ホドロ社およびサーイパー社の非効率的な経営が、自動車価格の必要以上の上昇を招いていると、ガザンファリー鉱工業・商業大臣が批判している。「これら両社が低価格の為替を管理すれば、今日、国民が高価な製品を購入することはなかった」と同大臣は述べた。

4. イラン税関とイラン中央銀行による輸入統計（21日付シャルグ紙）

2つの政府機関（イラン税関とイラン中央銀行）による輸入統計が毎年発表されるが、この両者の発表には最大で140億米ドルの乖離が存在する。ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1384年～1390年（2005年3月21日～2012年3月19日）までの通算の乖離額は1,220億米ドルに上る。特徴として、イラン中央銀行はイラン税関の数値より高めの数値を発表する傾向がある。

5. 国家予算における石油収入依存度の引き下げ（25日付ドンヤーイエ・エグテサード紙）

アフマディーネジャード大統領は、西側諸国の制裁に対抗すべく、来年〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕の国家予算の石油収入依存度を引き下げる見込みであり、この予算案は27日に提出されると述べた。大統領は、代わり

に非石油収入の増加を見越しており、非石油部門および技術エンジニアリング部門の輸出による収入は、最終的に 750 億米ドルに上ると見ている。

#### 6. 来年度予算案の国会への提出（28 日付ケイハーン紙ほか）

アフマディーネジャード政権は 2 月 27 日、来年〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392 年（2013 年 3 月 21 日～2014 年 3 月 20 日）〕の国家予算案を国会に提出した。今回提出された予算規模は 7,300 兆リヤール（約 5,950 億米ドル）であり、前年〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1391 年（2012 年 3 月 20 日～2013 年 3 月 20 日）〕（当初予算）比 22%の増額となっている。予算案の中で石油収入は、40%下落の 660 兆リヤール（約 538 億ドル）と見込まれ、想定油価 1 バレル当たり 95 米ドルとされている。

#### 7. 補助金合理化第二弾と現金給付額増加（28 日付ドンヤーイエ・エグテサード紙）

国会に予算案を提出した後、政府は補助金合理化第二弾、および現金給付額増加の実現を強調した。提出された予算案の中には、900 兆リヤール（約 734 億ドル）の補助金合理化第二弾実行の予算も組み込まれており、第一弾実行時より 125%増額されている。

#### 8. 債権の発行（28 日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙）

イラン中央銀行は 50 兆リヤール分の債権を複数の州の民間銀行を通じて 3 月 2 日に発行する。当債権の期限は 1 年間で、年利 20%であり、3 カ月に 1 度利息が支払われる。